

ゆののの

第5号 (H13・8・1発行)
湯野編集局
湯野公民館 (83・2002)

☆ お仕事にチャレンジ！ ～湯野っ子のドキドキ職場体験☆

湯野小学校 (重枝弘機校長) の5・6年生19人が、総合学習の一環として6月21日・26日・28日の3日間 (午前のみ)、湯野地区の公共施設やお店で職場体験 (事業名: お仕事にチャレンジ!) を行いました。

これは、公民館と小学校、そして地域が一体となって実施されたもので、子供達がこれから生きていく上で必要となる様々なもの (自立心、協調性、奉仕の精神など) を養うために企画されました。

子供達は、たくさんの人達の善意 (温かい目) に見守られ、3日間同じ職場で一生懸命に働きました。

7月16日に湯野小学校体育館で行われた職場体験の発表会では、「働くことの大変さが分かった。」「楽しかった。また、職場体験してみたい。」「発表する子供達の様々な素直な意見が発表されました。発表する子供達のイキイキと輝いた瞳を観ていると、今回の事業を実施して良かったという充実感がこみ上げてきました。きっと、子供達の一人一人が、お金では買うことのできない大切な何かを学んでくれたことと思います。」

今回の事業は、本当にたくさんの人達の協力があったわけですが、協力店や施設の方々、子供達の働いている様子を写真やビデオに撮影したり、レポーターやサポーターとして子供達の様子を温かく見守っていただいた地域ボランティアの皆さん…… 大変お疲れさまでした。



☆ 世代を越えた交流って、いいもんですね☆

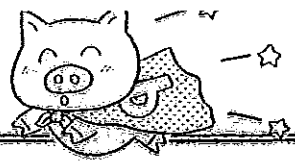
6月6日 (水) 9時頃、湯野小学校の3年生14人 (十重国先生) が湯野公民館を訪れました。

子供達は公民館の仕事の内容等取材し学んだ後に、この日、公民館の会議室で活動されていた「手づくりサロン」の皆さんと一緒に、かわいい子犬のマスクコット (おしぼりを利用) を作りました。

子供達とお年寄りとは、そのほとんどが初対面でしたが直ぐに打ち解けた様子でした。お互いに楽しい会話をしながらの作業で、終始笑顔が絶えず、何とも言えない、ほのぼのとした雰囲気会場を包んでいました。子供達は、一生懸命に作った出来たての子犬のマスクコットを嬉しそうに、大事そうに小さな手に抱えていました。

その子供達の嬉しそうな顔を、手づくりサロンの皆さんもまた、嬉しそうに、ずっと眺めていました。「世代を越えた交流っていいもんだな」と思いました。





★ 育児サークルでの楽しい一時 ★

5月28日(月) 9時30分から、0歳児から4歳児までを対象とした「サークルゆりかご湯野」が、湯野公民館で行われました。

このサークルは、6年くらい前から存在し、子供達が健やかに育つための環境づくりを目的とするもので、山下真喜子さん(下名山)と、山下良江さん(上柚木河内)がお世話されています。

この日の参加者数は約20人で、参加者は育児相談が終わった後、手遊び(糸巻き体操)や紙芝居などを楽しみました。参加されたお母さんに感想を聞いてみると、「子供にとってはオモチャの貸し借りなどによって、ちよつとしたルールが身に付くし、自分(親)にとっても、子育ての息抜きができる」と同時に、「同じ年齢の子供を持つ親同士の子育ての情報交換もでき、とてもありがたい。」とのことでした。



★ 堅田家墓所の
清掃活動! ★

7月7日(土)の7時30分から性梅院の南方高台にある、「湯野の領主 堅田家(毛利家 寄組)」の墓所周辺の清掃活動が行われました。

清掃に協力されたのは、23人のボランティアの方々に、梅雨の蒸し暑い中、汗を流しながら懸命に作業に取り組みられました。お陰で、この周辺が、随分ときれいになりました。

この墓所は、参拝者も多く、歴代藩主のもの(墓)が北から順に、12代まで整然と並び、当時の格式の高さと威厳が偲べれます。今後とも継続して清掃活動などを実施し、この墓所を湯野地区の貴重な観光資源や歴史的遺産として後世に残す必要があるのではないのでしょうか?

